脳出血で入院された　＿＿＿＿＿＿＿＿様へ

福井赤十字病院　神経内科・脳神経外科

脳出血とは、脳の血管の一部が破れて頭蓋内に出血する病気です。

ゴール目標　：　点滴が終了し症状が軽減すれば退院です。リハビリが必要な方はリハビリの可能な病院に転院になります。

	入院日 （　／　）	1～2 日目 （　／　）～（　／　）	3 日目 （　／　）	4 日目 （　／　）	5 日目 （　／　）	6 日目 （　／　）	7 日目 （　／　）	8 日目 （　／　）	9 日目 （　／　）	10 日目 （　／　）	11日目 （　／　）	12日目 （　／　）	13日目 （　／　）
検査 治療	・採血　検尿　胸部写真　心電図　頭 CT　頭 MRI 頚動脈エコー　心エコー　ホルター心電図 脳スペクト											・退院予定です	
注射 内服	・点滴をします ・現在内服薬を飲んでおられる方は看護師にお申し出ください ・医師の指示があれば内服を続けていただけます ・病状によっては、内服を中止する場合があります	・必要に応じて点滴をします										・内服が開始されます	
安静度	・医師の指示により、安静度を指示します												
食事	・医師の指示する食事がでます												
排泄	・ベッド上安静のため看護師がお世話します	・トイレまで歩けます ・トイレまで無理なようであればポータブルトイレを使用します ・必要時、看護師がお世話します											
清潔	・洗面、歯磨きのお手伝いをします	・洗面、歯磨きのお手伝いをします ・身体を拭きます ・2 日目以降、医師の許可があれば、シャワーまたは入浴することができます											
観察	・血圧や症状を 4 時間毎にみます	・状態に応じて、血圧や症状を確認します											
リハビリ	・状態により、リハビリが必要な方はリハビリを開始します												
その他	・看護師が入院生活について説明します ・入院診療計画書をお渡ししますので、署名の上お出しください	・医師より検査結果の説明があります		・医師より症状等の説明があり今後の事についてご本人、ご家族の方と話し合いをします ・別紙（パンフレット）を用いて、退院後の生活について説明を行っていきます ・症状に応じて、または新たに入院された方の都合で、お部屋をかわって頂くことになりますがご了承ください								・薬剤師が薬について説明します ・退院される方は退院療養計画書をお渡ししますので、署名の上お出しください	
説明者													

※状態に応じて予定が変わることもあります。何か質問があれば看護師にお聞きください。

主治医（　　）

担当看護師（　　）

入院負担割合	３割	７０歳以上（１割）	７０歳以上（２割）	７０歳以上（３割）
負担額	約５００，０００円	約１００，０００円	約１００，０００円	約３００，０００円

＊入院費は概算ですので診療内容・病状等により異なる場合があります。2022.4.18☆

脳出血治療を受けて退院される方へ

退院おめでとうございます。これから退院後の生活の注意点について説明させていただきますので、参考になさってください。以下の内容で不明な点は、医師、看護師、薬剤師などにご遠慮なくお尋ねください。

１、病気について

・脳卒中（脳の血管が詰まったり、破れたりして起こる病気）のひとつで、脳の血管がやぶれる場合が脳出血です。原因としては高血圧が挙げられます。再発予防のためには血圧のコントロールをしていくことが重要です。

２、血圧のコントロールについて

・自分の普段の血圧を知っておきましょう。降圧剤(血圧を下げる薬)を内服されている方は家でも血圧を測定し、記録されることをお勧めします。

・不規則な生活やストレス、バランスの悪い食事なども血圧に影響を及ぼすことがあります。規則正しい生活を心掛けましょう。

・適度な飲酒はストレス解消になりますが、飲酒は慢性的に血圧をあげてしまいます。

ビールなら中びん	１本（500ｍｌ）
日本酒なら	１合（180ｍｌ）
ウイスキーなら	シングル２杯かダブル１杯
ワインなら	グラス２杯（240ｍｌ）

★週に２日は飲まない休肝日を設けましょう★

３、内服について

・処方されたお薬は指示通りにきちんと飲みましょう。お薬の飲み方を変えてしまうと効き目が十分でないこともあります。

・薬剤師から飲んでいるお薬について説明があります。

４、日常生活について

・できる範囲で身の回りのことは自分で行ないましょう。ひとつひとつの日常生活段差がリハビリテーションと考えてみましょう

・食事は腹八分目にして、食べ過ぎないようにしましょう。

・塩分の取りすぎは、血圧を高くするので、かわりにだしや柑橘類・香辛料などで味付けの工夫をして、塩分を控えましょう。

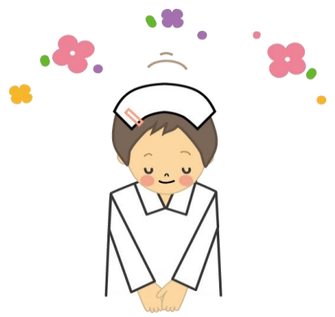
・便秘は避けましょう。トイレでいきみすぎると血圧が高くなります。水分を十分にとり、食物繊維も多くとりましょう。

・禁煙に努めましょう。タバコは血管を収縮させ、血圧を高くしたり、動脈硬化を進めたりします。

５、再発について

再発かなと考えられる症状、ぼおっとして反応が鈍い、呼んでたたいても起きない、片方の手足や顔半分がしびれる、ろれつが回らない、言葉が出ない、他人の言うことが理解できない、頭痛、吐き気、嘔吐、黒目が同じ方向を向いたまま反応がない、手や足が動かせないなどがでてきた場合には、かかりつけの病院や専門医の診察をうけるようにしましょう。

緊急時には脳卒中担当医師がいつでも対応いたします



福井赤十字病院　　脳卒中センター